令和８年１０月２７日

苫小牧市長　金澤 俊　様

令和９（2027）年度

予算編成及び市政執行に関する

要望書

苫小牧市議会　会派 新緑

代　表　　山 谷　芳 則

喜 多　新 二

竹 田　秀 泰

山 田　隆 子

嶋 中　康 晴

志 方　光 徳

はじめに

苫小牧市を取り巻く社会経済情勢は、人口減少や少子高齢化の進行、物価・人件費の上昇、人手不足などにより、大きく変化しています。また、公共施設やインフラの老朽化への対応、社会保障関係費の増加、子育て・教育環境の充実、防災・減災対策など、今後も行政需要の増大が見込まれています。
本市の財政においても、将来負担比率をはじめとする財政指標の動向を十分に注視しながら、中長期的な視点に立った持続可能な財政運営がこれまで以上に求められています。限られた財源の中で、多様化する市民ニーズや新たな行政課題に対応していくためには、これまでの事業を継続することを前提とするのではなく、その必要性や成果、費用対効果を検証し、事業の見直しや再構築を進めることが必要です。
一方、本市では、駅前を中心とした都市再生、苫小牧港・苫東地域のさらなる発展、企業誘致や新たな産業の創出、ゼロカーボンの推進など、将来のまちづくりにつながる重要な取組が進められています。さらに、学校再編をはじめ、公共施設のあり方や地域コミュニティ、防災、福祉、交通など、市民生活に大きな影響を及ぼす課題についても、将来を見据えた判断が求められる重要な時期を迎えています。
こうした重要な政策を進めるに当たっては、市民への十分な情報提供と丁寧な説明を行い、市民の声を幅広く聞きながら、理解と信頼を得て市政を進めることが重要です。
厳しい財政状況にあっても、単に歳出を抑制するのではなく、見直すべき事業は見直し、子育て・教育、防災・減災、福祉・医療、地域経済の活性化、都市基盤整備など、市民生活と苫小牧の将来に必要な分野には重点的に財源を配分していかなければなりません。
会派「新緑」として、将来世代に過度な負担を残すことなく、市民が安心して暮らし、苫小牧の持つ可能性を次の世代へつないでいく持続可能なまちづくりを進めることを求め、令和９年度の予算編成及び市政執行に当たり、次の事項について要望いたします。

令和９（2027）年度 会派 新緑

予算編成及び市政執行に関する要望

目次

１．産業・経済の推進【１２項目】《新規２項目・継続１０項目》

２．子育て・教育の環境【１５項目】《新規５項目・継続１０項目》

３．安全・安心な市民生活【１６項目】《新規２項目・継続１４項目》

４．福祉と医療の充実【８項目】《新規１項目・継続７項目》

５．環境政策【７項目】《新規２項目・継続５項目》

６．市民協働と地域連携【６項目】《新規２項目・継続４項目》

７．文化・芸術・スポーツの推進【５項目】《新規２項目・継続３項目》

８．行政改革【５項目】《新規３項目・継続２項目》

１．産業・経済の推進　【　１２項目　】

《新規要望》

① 気候や地政学を活かした交流人口の促進及び、二拠点生活者の誘致

② 産官学金連携による、地域独自の産業活性化モデルの構築

《継続要望》

① 駅前再整備と都市再生コンセプトプランの実現に向けた具体的な取組みの実施

② 企業版ふるさと納税、ネーミングライツ等の促進による税外収入の拡大

③ 半導体関連企業等、更なる企業立地に向けたアプローチ

④ 地場企業の競争力強化と DX、GX の推進

⑤ 公共施設指定管理者制度の改善と、指定管理団体の資質向上への取組み

⑥ 障がい者、高齢者、女性活躍の推進による、地場企業人手不足の解消

⑦ 苫小牧港・苫東地域の物流拠点強化と MICE 誘致に交流人口の拡大

⑧ 観光・インバウンド・スポーツツーリズム振興による地域経済の活性化

⑨ 正規雇用促進による勤労世代・若手人材の地元定着支援

⑩ 大規模データセンターの集積に向けた取り組みと光海底通信ケーブルの整備

２．子育て・学校教育の環境　【　１５項目　】

《新規要望》

① 学校再編による整備計画の早期設計と、残される学校の充実した環境整備

② 学力、体力の低下に対する教育投資の拡充

③ 教員のなり手不足対策と、離職率を下げるための取り組み

④ 「子どもファースト」の地域展開を推進し、小学校から中学・高校まで一貫した質の高い指導・支援体制を確立して、地域全体で子どもの成長を支える環境を整備すること

⑤ 不登校児童生徒の学びを支えるため、フリースクール等の利用料や交通費への支援

《継続要望》

① 子ども・子育て世帯への相談体制を含めた支援の拡充

② 保育園の保育士確保、保育士定着、研修制度に関わる財源を含めたあらゆる支援

③ 産後ケア事業のさらなる充実と支援体制の強化

④ 学校図書司書の人員拡充

⑤ いじめ等あらゆる暴力防止対策に係る暴力防止教育プログラム CAP の早期導入と、学校・家庭・地域が一体となった取組みとして大人向け CAP ワークショップを開催し、地域全体での子どもの権利意識の醸成を推進すること

⑥ 特認校である樽前小学校の市民周知及び児童募集プロモーションの強化

⑦ 部活動地域展開の支援及び、完了後を見据えた社会教育環境の充実

⑧ 不登校支援の充実と、子ども食堂やフリースクールへの支援強化

⑨ ICT や生成 AI、半導体関連分野の教育への取り組み

⑩ コミュニティ・スクールにおける地域人材活躍機会の推進

3． 安全・安心・便利な市民生活　【 １６項目 】

《新規要望》

① 学校再編に伴う避難場所減少対策

② 避難所運営マニュアルに性加害防止対策を明確に位置づけ、引き続き女性の視点を重視した内容検証をし、安全・安心な避難環境を確保するための体制を強化すること

《継続要望》

① 気候変動を踏まえた都市型水害への適応施策の推進

② 市営住宅整備計画に沿った老朽化した市営住宅の建替・改修に向けた予算の確保

③ 上下水道部の施設・管路耐震化・大雨対策に向けた予算確保

④ 大規模災害に備えるための物資備蓄等体制の強化

⑤ 災害時の要支援者に対する支援体制の拡充

⑥ 在住外国人の生活支援の充実に向けた官民連携による体制づくり

⑦ 人口増を目指す取り組み

⑧ 都市・交通分野における MaaS・自動運転・防災 DX の推進

⑨ 行政手続のデジタル化・オンライン化の加速

⑩ 災害発生時における地域防災計画の改訂と訓練の実施

⑪ 道路・橋梁・河川の計画的な維持補修と長寿命化対策の推進

⑫ 野生動物によるリスク・被害を回避するための抜本的な対策

⑬ 市民の情報格差を解消するため、特に高齢者・障がい者等への支援（デジタルデバイド対策）を強化する

⑭ 庁外 CIO コンサルの活用検討及び、庁内統合型 GIS の実装とオープンデータ連携等の利活用に向けた実効性のある取組

４．福祉と医療の充実　【 ８項目 】

《新規要望》

① 地域包括支援センターの活動を支える人員及び予算の拡充

《継続要望》

① 成年後見制度の官民連携と担い手育成支援

② 介護従事者の人材不足に対する実効性のある対策強化

③ 医療的ケア児等及びその家族への支援体制の充実

④ 障がい者の就労支援とバリアフリー環境の整備

⑤ 重層的支援体制整備に係る機能強化

⑥ 生活困窮者の居場所づくりとフードバンクへの支援強化

⑦ 外国人介護人材の受入支援と生活支援の拡大・強化（日本語教育・住宅支援・地域交流等）

５．環境政策　【 ７項目 】

《新規要望》

① 脱炭素先行地域として、自然と産業と再エネが高いレベルで共生できるロードマップと市民理解の徹底

② 豊かな自然環境を保護・保全しながら産業開発との調和を図り、環境と経済が共存する持続可能なまちづくりを推進すること

《継続要望》

① 住宅用省エネルギーシステム設置のための更なる支援

② 市内企業のゼロカーボンに資する設備投資等の費用補助

③ 市民・事業者への環境意識醸成と行動変容の促進

④ 森林・自然環境の保全と生物多様性の推進

⑤ 自然環境に配慮した PPA 方式による太陽光発電・LED 化の推進

６．　市民協働と地域連携　【６項目】

《新規要望》

① 住民による自治を支えるシビックプライドの醸成

② 性別・年齢・国籍・障がいの有無を問わず、あらゆる市民が尊重され活躍できるインクルーシブな社会の実現に向け、多様性推進施策を総合的かつ積極的に強化すること

《継続要望》

① 「男女平等参画都市宣言のまち」として宣言した理念を着実に実践するため、男女平等参画社会の実現に向けた具体的施策を継続するとともに、市民の理解促進と意識醸成に資する取り組みを推進すること

② 町内会運営の担い手確保と柔軟な支援制度の構築

③ 多世代交流の促進と地域ボランティアの活性化

④ 多文化共生の推進と外国人住民との地域連携強化

７． 文化・芸術・スポーツの推進　【５項目】

《新規要望》

① 市民ホール駐車場混雑の解消

② 総合体育館整備方針の設定及び老朽化対策の早期化

《継続要望》

① 駅前再整備に連動させた民設民営アリーナ建設の計画推進

② 苫小牧市民文化ホールの市民利活用の増強

③ 市内で活動する文化・芸術活動に対する幅広い支援

８． 行政改革　【５項目】

《新規要望》

① 市民の声を聞く、市民の説明する機会と姿勢の強化

② 時代の変化に対応し、市が実施する委託事業の有効性・費用対効果を定期的に検証し、必要に応じて事業の見直しや再構築を行うこと

③ 補助金・助成金等の交付にあたっては、事業の成果や実績を厳格に検証し、本来の趣旨・目的に則った有効活用を徹底するとともに、透明性の高いチェック体制を構築・強化すること

《継続要望》

① 働き方改革と調和した職員育成の推進

② 公共施設・庁舎のネットワーク強靱化とセキュリティ対策の強化